児童養護実践研究
第1号

日本児童養護実践学会

2011年10月発行

『児童養護実践研究』第１号

巻頭言　　高橋利一（日本児童養護実践学会・学会長）　p. 1

第３回研究大会基調講
「実践を言葉で説明する力　～理論と実践の好循環を目指して～」
岩間伸之（大阪市立大学大学院生活科学研究科）　p. 4

特別講演
「子どもの心を聴く　～効果的なコミュニケーションのために～」
田中万里子（サンフランシスコ州立大学名誉教授）　p. 22

第２回大会シンポジウム
「子どものアドボカシーに応えるファミリーソーシャルワーク」
鹿毛弘通、酒井寛、野村和洋、樋口亜由美、加藤純　p. 26

論文
「里親支援機関事業の課題と展望　～施設による里親支援の可能性～」
横堀昌子（青山学院女子短期大学）　p. 35

実践報告
「児童養護施設における家庭支援専門相談員としての一考察
～新卒で家庭支援専門相談員に採用された３年間を振り返って～」
宮平千穂（さんあい家庭支援専門相談員）　p. 47

その他
「当事者として、「児童の暴力」に対峙するということ
～司法福祉ケースワークへのパラダイムシフト私論～」
岡田 強志（元・児童養護施設職員）　p. 57

『児童養護実践研究』投稿規程・執筆要項　p. 67

編集後記　p. 71